

# 令和5年度 事業報告書

I 法人の概要

II 事業の概要

III 財務の概要

学校法人高木学園

福岡県福岡市早良区百道浜三丁目6番40号

# 令和5年度 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現をめざす。医療福祉教育における各専門職の隔壁を外し、医療や福祉の専門職を目指す学生が共に学び、自らの専門に加え、常に自分の専門以外の幅広い知識や他人に対する優しい心を養うことが重要との考えの下、多彩な医療福祉専門職の育成とその地位向上を目的とする。

### (2) 学校法人の沿革

学校法人高木学園は、福岡国際医療福祉大学・専門学校柳川リハビリテーション学院・大川看護福祉専門学校を有する学校法人である。特に、専門学校柳川リハビリテーション学院は、私学のリハビリテーションの養成校として、1990年に福岡県内で初めて誕生した伝統校である。

当法人は西日本のリハビリテーション医療をリードする優秀な人材を養成し続け、これまでに7,000名以上の卒業生を輩出してきた。

1990年4月	柳川リハビリテーション学院	・厚生省より理学療法士20名、作業療法士20名の養成施設として指定を受ける ・福岡県初の私学のリハビリテーション養成校として開校
	大川看護福祉専門学校	・大川看護学院開校（看護婦科2年課程）
1992年3月	大川看護福祉専門学校	・大川看護専門学校に改称
1993年4月	柳川リハビリテーション学院	・入学定員変更（理学療法・作業療法学科定員40名）（夜間部理学療法・作業療法学科定員20名）
1997年4月	柳川リハビリテーション学院	・医療言語聴覚学科開設
1999年4月	柳川リハビリテーション学院	・医療言語聴覚学科から言語聴覚学科へ学科名変更
2001年4月	大川看護福祉専門学校	・学校名を大川看護福祉専門学校に改称、介護福祉学科（2年課程）開設
	福岡国際医療福祉学院	・厚生労働省より理学療法士40名・作業療法士40名・言語聴覚士40名・視能訓練士40名の養成施設として指定を受ける ・福岡国際医療福祉学院開校
2003年4月	福岡国際医療福祉学院	・厚生労働省より理学療法士（夜間課程）40名・作業療法士（夜間課程）40名の養成施設として指定を受ける
2005年4月	大川看護福祉専門学校	・看護学科（3年課程）開設
2008年4月	福岡国際医療福祉学院	・福岡市早良区に移転し、看護学科開設
2019年4月	福岡国際医療福祉大学	・福岡国際医療福祉大学開学
2020年3月	福岡国際医療福祉学院	・福岡国際医療福祉学院閉校
2021年4月	福岡国際医療福祉大学	・看護学部看護学科開設
2023年3月	福岡国際医療福祉大学	・言語聴覚専攻科廃止

2023年4月	福岡国際医療福祉大学	・医療学部言語聴覚学科開設
2024年4月	福岡国際医療福祉大学 福岡医療経営学院	・医療学部診療放射線学科、生涯教育センター開設 ・福岡医療経営学院開校（医療事務科2年課程）

### (3) 設置する学校・学部・学科等

(令和5年5月1日現在)

福岡国際医療福祉大学 (福岡県福岡市早良区百道浜三丁目6-40)	医療学部 (4年課程)	理学療法学科
		作業療法学科
		視能訓練学科
		言語聴覚学科
	看護学部 (4年課程)	看護学科
	言語聴覚専攻科 (2年課程)	
専門学校柳川リハビリテーション学院 (福岡県柳川市上宮永町116-1)	理学療法学科 (3年課程)	
	作業療法学科 (3年課程)	
	言語聴覚学科 (3年課程)	
大川看護福祉専門学校 (福岡県大川市酒見391-5)	看護学科 (3年課程)	
	介護福祉学科 (2年課程)	

### (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和5年5月1日現在)

(単位:人)

学校名			入学定員	入学者数	収容定員	現員数
福岡国際医療福祉大学	医療学部	理学療法学科	40	46	160	179
		作業療法学科	40	42	160	175
		視能訓練学科	40	42	160	167
		言語聴覚学科	40	41	(※1) 40	41
	看護学部	看護学科	100	112	400	427
		言語聴覚専攻科	-	-	(※2) 40	12
小計			260	283	960	1,001
専門学校 柳川リハビリテーション学院		理学療法学科	40	42	120	120
		作業療法学科	40	26	120	79
		言語聴覚学科	40	25	120	70
	小計			120	93	360
大川看護福祉専門学校		看護学科	40	44	120	127
		介護福祉学科	40	15	80	31
	小計			80	59	200
合計			460	435	1,520	1,428

※1 学年進行中 (令和5年4月開設)

※2 令和4年4月学生募集停止

(5) 役員の概要 (令和5年5月1日現在)

理事	8名 (定数 5～8名)
監事	2名 (定数 2名)
評議員	17名 (定数 11～17名)

(6) 教職員の概要

(令和5年5月1日現在)

福岡国際医療福祉大学	教員	82名 (教授31名、准教授14名、講師19名、助教13名、助手5名)
	職員	61名
専門学校	教員	17名
柳川リハビリテーション学院	職員	11名
大川看護福祉専門学校	教員	13名
	職員	8名

## 2. 事業の概要

### (1) 主な教育・研究の概要

#### ● 福岡国際医療福祉大学

##### ① 本学の特長を生かした教育の実施

本学は、保健、医療、福祉の分野において、高い知識と優れた技能、そして科学的・創造的探究心と豊かな人間性を備えた、時代のニーズや地域医療に貢献できる専門職を養成することで、基本理念にある「共に生きる社会」の実現をめざすものである。令和3年4月に国際医療福祉大学から福岡看護学部を移管し、看護学部看護学科が開設されたことに伴い、「チーム医療・チームケア」の学びを更に深めることができる環境となった。

令和5年4月には言語聴覚学科が開設され、これまでに培ってきた医療・福祉の技術力、姉妹校・国際医療福祉大学の教育ノウハウ、そして整った学修環境（学内設備、グループ関連医療福祉施設との連携等）を通じて、幅広く活躍できる言語聴覚士の養成をめざす。

##### ② 学生への支援活動体制

- アドバイザー制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導について、定期的な学生面談や教員間の情報共有を実施した。
- 学年横断の学修機会を設け、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上とともに学生間の交流を促進した。
- 単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施した。
- 医療学部及び看護学部共に、学科教員による丁寧な個別指導とキャリア支援室との連携により、希望者全員就職という結果となった。
- 学生会組織を設立し、学生会代表と学長との懇談会を行うことで学生意見を学長へ伝える場を設けた。また、教職員で助言を行いながら学生会代表が中心となりイベントを開催することができた。
- 本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。
- 学生相談室を設置し、カウンセラーによる相談体制を整えている。

### ③教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

福岡国際医療福祉大学FD・SD推進委員会を設置し、この委員会での審議に基づき、FD・SDに係る取組みを展開した。また、FD・SD推進委員会は教務委員会と連携し、教育の質の向上を目指している。

#### ○令和5年度FD・SD活動実績

開催日	講演テーマ
令和5年5月18日	私立学校の改正に関する説明会
令和5年5月18日	コンプライアンス（研究倫理）研修
令和5年6月2日	公的研究費説明会
令和5年6月30日	第1回教職員研修会「発達障害・学習障害が疑われる学生への対応」
令和5年7月26日	メンタルヘルス講習会「ハラスメントとストレス」
令和5年9月4日	令和5年度国際交流推進協議会
令和5年9月4日 ～令和5年9月20日	令和5年度広報担当者協議会
令和5年10月16日 ～令和5年11月6日	令和5年度大学経理部課長相当者研修会
令和5年11月10日	第1回教員研修会「現場で役立つ教える技術」
令和5年12月6日	大学等の質保証人材育成セミナー 「高等教育と生涯学習を横断する質保証 vol.6」※IR研修
令和5年12月19日 ～令和5年12月31日	ハラスメント防止研修 「いちばんの基本に立ち返り、自分を振り返る」 「モラルハラスメントについて知る」
令和6年3月18日	第2回教員研修会「グッドティーチング賞報告会」

### ④国家試験等合格状況（別表1）

理学療法学科（理学療法士）、作業療法学科（作業療法士）、看護学科（看護師・保健師）、言語聴覚専攻科（言語聴覚士）において、全国合格率を上回る結果となった。

### ⑤就職状況（別表2）

国家試験後から就職活動する学生のサポートを卒業後も行い、全学科及び専攻科において100%の就職率を達成した。学年ごとの就職ガイダンスの内容及び時期を年度ごとに検討し、更に学生の長所を生かせる就職先を導くことを目指す。

### ⑥研究活動に係る外部資金獲得状況

【令和5年度実績】

（単位：千円）

項目	交付件数	交付金額
文部科学省科学研究費	27	47,150
合計	27	47,150

## ⑦入学者選抜

○入学試験結果（令和5年度実施）

（単位：人）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
医療学部				
理学療法学科	40	305	61	44
作業療法学科	40	94	54	43
視能訓練学科	40	79	48	41
言語聴覚学科	40	131	63	48
診療放射線学科	60	465	112	76
看護学部				
看護学科	100	430	190	120
計	320	1,504	528	372

### ○志願者確保の方策

令和6年4月診療放射線学科開設に向けて、既存学科と診療放射線学科に分けたプロモーション（広報活動）、学生募集活動を行い、志願者確保に繋げた。プロモーションでは、制作物、CM制作、イベント内容等では、新設の診療放射線学科内容も学内で検討したうえで、既存学科とは別に認知度UPを図る内容で行い、その後、学生募集活動としてイベントを実施する流れを作った。結果、学生募集活動として実施した、オープンキャンパスはじめ入試説明会の参加者数は、過去最高値の参加者数となった。

募集の早期化により高校1・2年生の参加も増えているため、本学の認知度UPならびに将来の職業理解を促す啓発活動として、学生募集イベント「職業体験イベント」「病院見学会」も隣接する福岡山王病院（本学のグループ病院）と連携して実施した。

## ⑧学生によるボランティア活動や地域行事への参加

福岡市の地域環境美化活動に100名以上の学生が参加し、百道浜海岸の清掃活動を行った。また、ボランティアを募り、大学祭後の地域清掃を行った。

## ⑨地域との交流関係

地域の方を招いて大学祭を開催し、血圧や肌の角質水分量、骨密度の測定、バランス検査・小物づくり・動体視力検査等、各学科の専門性を生かしたブースを設置し、多くの方々との交流を図ることができた。

## ⑩社会的活動

### ○地域公開講座

第1回 令和5年7月8日（土） 14:00～16:00

テーマ：大人の健康～認知症と脳～

(1)「認知症の理解と予防」医療学部言語聴覚学科 尾籠晃司 教授

(2)「脳が若返る5つの習慣」医療学部視能訓練学科 飛松省三 教授

第2回 令和5年10月21日(土) 14:00~16:00

テーマ:子どもの健康

(1)「乳幼児の食育を考えよう」看護学部看護学科 学部長 高野政子 教授

(2)「健やかな視機能を育むために」医療学部視能訓練学科 田村省悟 講師

#### ⑪自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、学内に設けられている各委員会及び学科・専攻科ごとの活動内容をまとめ、点検整備した上で2022年度自己点検・評価報告書を作成した。また、教員の教育・研究活動等については2022年度年報として2022年度自己点検・評価資料集「ザ・フクオカ」を作成した。いずれも本学ホームページを通じて公表している。

### ● 専門学校柳川リハビリテーション学院

#### ①本学院の特長を生かした教育の実施

本学院は、多様化する医療・福祉の分野において、高い専門知識・技術及び社会的スキルを教授し、あわせて豊かな心と自律性を育み、チーム医療ひいては社会に貢献し得る人材を育成することをめざしている。

本学院は、柳川リハビリテーション病院等の近隣のグループ施設と連携しながら、3年間で即戦力となる臨床家を育成している。

#### ②学生への支援活動体制

- 遠隔地の学生のために学生寮を保有している。
- 最寄り駅から本学院までスクールバスを運行している。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により数年間に渡り学生イベントを実施できていなかったが、新型コロナウイルス5類移行を受け、運動会や学院祭の開催を支援した。
- 単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施した。
- 本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

#### ③教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

FD活動は、柳川リハビリテーション学院FD委員会を設置して取り組むこととしており、SDについても当委員会での審議に基づき、取り組みを展開している。令和5年度のFD活動として、3科合同症例検討会を8コマ実施し、多職種理解を促した。

#### ④国家試験等合格状況(別表1)

全学科において、全国合格率を上回る結果となった。引き続き、各学科において国家試験に向けた教育及び対策について継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

### ⑤就職状況（別表2）

全学科において100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことをめざす。

### ⑥入学者選抜

○入学試験結果（令和5年度実施）

（単位：人）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
理学療法学科	40	44	42	42
作業療法学科	40	28	27	26
言語聴覚学科	40	25	25	25
計	120	97	94	93

#### ○志願者確保の方策

早期受験生獲得のために、オープンキャンパス連動型入試「エントリー制AO入試」を中心にPRを実施。オープンキャンパスに参加できない方には個別相談会を実施し、エントリーAO入試の志願者を確保した。

また、定期的な高校訪問や各地で実施される進学相談会に参加することにより九州全域からの受験者獲得を試みた。パンフレット等の早期配布、夏季オープンキャンパス動員のためのWEB広告などで多くの学生をOCへ誘導し入学へ結びつけた。

### ⑦自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会を設置しており、年度ごとに各学科の活動内容や学生募集状況等をまとめ、点検整備し、毎年5月に本学院ホームページ上で公表している。

## ● 大川看護福祉専門学校

### ①本校の特長を生かした教育の実施

本校は愛と誠実を全ての基として自主的精神を重んじ、“生命の尊厳”“生命の平等”を具現する感性豊かな人を育成することを教育理念とし、看護師、介護福祉士として必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、温かな心と倫理観をもち、誇りをもって保健・医療・福祉に貢献できる人を育てることを目標としている。

### ②学生への支援活動体制

- 専門カウンセラー（臨床心理士）に相談できる、こころの相談室を開設している。
- チューター制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導を実施している。
- 単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施している。
- 本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。



③国家試験等合格状況（別表1）

国家試験合格率は看護学科が91.6%、介護福祉学科が90.9%となった。教育及び対策については継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

④就職状況（別表2）

両学科において100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことをめざす。

⑥入学者選抜

○入学試験結果（令和5年度実施）

（単位：人）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
看護学科	40	82	59	44
介護福祉学科	40	15	15	15
計	80	97	74	59

○志願者確保の方策

オープンキャンパス（学校説明会）を頻回に実施した。北部九州を中心に年間のべ1,000校以上の高校訪問を実施。また夏季オープンキャンパス動員に向けたWEB広告を実施し、介護福祉学科は昨年度より参加者は微減となった。留学生（ミャンマー・タイ）は9名が入学した。

⑦自己点検・評価の実施

「自己点検・自己評価」を毎年5月までに実施し、本校ホームページに掲載し公開している。

(別表 1) 国家試験等合格状況

学校名	資格名	本学合格率	全国合格率
福岡国際医療福祉大学	理学療法士	100.0%	89.2%
	作業療法士	100.0%	84.1%
	視能訓練士	94.7%	95.2%
	看護師	94.1%	87.8%
	保健師	100.0%	95.7%
	言語聴覚士	100.0%	72.4%
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法士	96.9%	89.2%
	作業療法士	94.4%	84.1%
	言語聴覚士	88.9%	72.4%
大川看護福祉専門学校	看護師	91.7%	87.8%
	介護福祉士	90.9%	82.8%

※ 本学合格率は、令和6年3月卒業生の合格率

(別表 2) 就職状況

学校名	学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
福岡国際医療福祉大学	理学療法学科	43	43	43	100%
	作業療法学科	40	39	39	100%
	視能訓練学科	38	37	37	100%
	看護学科	103	94	94	100%
	言語聴覚専攻科	12	12	12	100%
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法学科	35	31	31	100%
	作業療法学科	21	17	17	100%
	言語聴覚学科	23	16	15	93.8%
大川看護福祉専門学校	看護学科	36	32	32	100%
	介護福祉学科	11	11	11	100%

※ 就職率は就職希望者に対する就職者数の割合

## (2) 令和6年度入試結果（令和5年度実施）

（単位：人）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
福岡国際医療福祉大学				
医療学部				
理学療法学科	40	305	61	44
作業療法学科	40	94	54	43
視能訓練学科	40	79	48	41
言語聴覚学科	40	131	63	48
診療放射線学科	60	465	112	76
小計	220	1,074	338	252
看護学部				
看護学科	100	430	190	120
小計	100	430	190	120
大学合計	320	1,504	528	372
専門学校柳川リハビリテーション学院				
理学療法学科	40	44	42	42
作業療法学科	40	28	27	26
言語聴覚学科	40	25	25	25
学校合計	120	97	94	93
大川看護福祉専門学校				
看護学科	40	82	59	44
介護福祉学科	40	15	15	15
学校合計	80	97	74	59
福岡医療経営学院				
医療事務科	40	12	12	11
学校合計	40	12	12	11
法人合計	560	1,710	708	535

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表関係

##### ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位：百万円)

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
固定資産	7,298	8,364	8,483	8,341	8,446
流動資産	3,036	2,749	3,345	3,966	4,996
資産の部合計	10,334	11,113	11,828	12,307	13,442
固定負債	43	55	59	60	75
流動負債	1,021	1,769	1,967	1,952	2,161
負債の部合計	1,064	1,824	2,026	2,011	2,236
基本金	8,916	8,987	10,475	10,551	10,833
繰越収支差額	353	302	△ 673	△ 255	374
純資産の部合計	9,270	9,289	9,802	10,296	11,206
負債及び純資産の部合計	10,334	11,113	11,828	12,307	13,442

##### イ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
運用資産余裕比率	228.6%	214.0%	181.3%	191.8%	225.2%
流動比率	297.4%	155.4%	170.1%	203.2%	231.2%
総負債比率	10.3%	16.4%	17.1%	16.3%	16.6%
前受金保有率	408.6%	179.2%	197.9%	239.8%	274.8%
基本金比率	99.6%	99.7%	100.0%	100.0%	99.8%

##### ②資金収支計算書関係

##### ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	727	880	1,761	1,940	2,005
手数料収入	22	40	37	34	44
寄付金収入	224	208	290	321	751
補助金収入	37	73	187	209	271
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	14	19	63	72	66
受取利息・配当金収入	0	0	0	0	0
雑収入	48	106	50	26	25
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	717	1,481	1,643	1,608	1,797
その他の収入	463	522	1,090	925	1,436
資金収入調整勘定	△ 578	△ 738	△ 1,497	△ 1,654	△ 1,630
前年度繰越支払資金	3,031	2,929	2,655	3,245	3,873
収入の部合計	4,704	5,521	6,280	6,726	8,637

支出の部	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人件費支出	689	638	919	1,000	990
教育研究経費支出	197	287	570	639	734
管理経費支出	260	223	219	301	343
施設関係支出	13	1,198	153	0	228
設備関係支出	161	84	122	14	47
資産運用支出	4	0	0	0	0
その他の支出	594	583	1,207	1,030	1,508
資金支出調整勘定	△ 142	△ 147	△ 156	△ 132	△ 150
翌年度繰越支払資金	2,929	2,655	3,245	3,873	4,937
支出の部合計	4,704	5,521	6,280	6,726	8,637

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科目	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	1,053	1,308	2,345	2,557	3,129
教育活動資金支出計	1,146	1,149	1,709	1,940	2,067
差引	△ 93	159	636	617	1,062
調整勘定等	140	840	171	△ 35	208
教育活動資金収支差額	47	999	808	582	1,270
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	0	0	10	0
施設整備等活動資金支出計	174	1,282	276	14	275
差引	△ 173	△ 1,281	△ 276	△ 4	△ 275
調整勘定等	0	△ 61	△ 23	3	0
施設整備等活動資金収支差額	△ 173	△ 1,342	△ 298	△ 1	△ 275
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 127	△ 343	509	580	995
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	444	502	1,115	934	1,448
その他の活動資金支出計	422	434	1,034	886	1,379
差引	22	69	81	48	69
調整勘定等	4	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	25	69	81	48	69
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 102	△ 274	590	628	1,064
前年度繰越支払資金	3,031	2,929	2,655	3,245	3,873
翌年度繰越支払資金	2,929	2,655	3,245	3,873	4,937

ウ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動資金収支差額比率	4.4%	76.4%	34.4%	22.7%	27.8%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科目		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	727	880	1,761	1,940	2,005
	手数料	22	40	37	34	44
	寄付金	224	221	300	321	751
	経常費等補助金	37	73	187	209	271
	付随事業収入	2	1	18	37	34
	雑収入	48	106	51	26	25
	教育活動収入計	1,059	1,321	2,356	2,567	3,129
	事業活動支出の部					
	人件費	695	650	925	1,000	1,005
	教育研究経費	322	416	732	803	900
	管理経費	283	247	231	313	355
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	1,299	1,313	1,888	2,116	2,260
教育活動収支差額	△ 240	8	468	451	869	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外収入	12	18	45	35	33
	教育活動外収入計	12	18	45	35	33
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0	
教育活動外収支差額	12	18	45	35	33	
経常収支差額	△ 228	26	513	485	901	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	2	0	0	10	17
	特別収入計	2	0	0	10	17
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	0	7	0	2	8
	その他の特別支出	57	0	0	0	0
	特別支出計	57	7	0	2	8
特別収支差額	△ 55	△ 7	△ 0	8	9	
基本金組入前当年度収支差額	△ 283	19	513	494	911	
基本金組入額合計	△ 301	△ 134	△ 1,488	△ 76	△ 282	
当年度収支差額	△ 584	△ 115	△ 974	418	629	
前年度繰越収支差額	937	353	301	△ 673	△ 255	
基本金取崩額	0	64	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	353	301	△ 673	△ 255	374	

(参考)

事業活動収入計	1,073	1,339	2,401	2,612	3,179
事業活動支出計	1,356	1,320	1,888	2,118	2,268

イ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人件費率	64.9%	48.5%	38.5%	38.5%	31.8%
教育研究経費比率	30.1%	31.1%	30.5%	30.9%	28.5%
管理経費比率	26.4%	18.4%	9.6%	12.0%	11.2%
学生生徒等納付金比率	67.7%	65.7%	73.4%	74.3%	63.4%

## (2) その他

①補助金の状況

(単位:百万円)

内容	施設	金額
私立大学等経常経費補助金	福岡国際医療福祉大学	128
修学支援制度授業料減免給付金	福岡国際医療福祉大学	87
福岡県看護師等養成所運営費補助金	大川看護福祉専門学校	18
福岡県私立専門学校授業料等減免補助金	大川看護福祉専門学校・柳川リハビリテーション学院	35
物価高騰対策支援金 他	福岡国際医療福祉大学 他	3
合計		271

②収益事業の状況

福岡市中央区長浜において貸駐車場、福岡市早良区百道浜においてコンビニへ賃貸をしており、その状況は次のとおりである。

貸借対照表

(単位:百万円)

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
資産の部					
流動資産	261	178	198	200	198
固定資産	7	6	6	4	3
資産の部合計	268	184	204	204	201
負債の部					
流動負債	0	2	4	4	2
固定負債			18	18	18
負債の部合計	0	2	22	22	20
純資産の部					
元入金	268	181	181	181	181
繰越利益剰余金	0	1	1	1	1
純資産の部合計	268	182	182	182	182
負債及び純資産の部合計	268	184	204	204	201

損益計算書

(単位：百万円)

科目	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
売上高	33	32	55	52	46
経費	14	13	8	10	9
経常利益	19	19	47	42	37
学校法人繰入支出	12	18	45	35	32
税引前当期利益	7	1	2	7	5
法人税等	7	1	2	7	5
当期純利益	0	1	0	0	0

(3) 経営状況の分析

①決算の概要

当期の学生納付金収入は、法人全体の学生数はほぼ変わらず授業料等の変動は少なかったものの、コロナ禍により中止していた福岡国際医療福祉大学の学生を対象とした海外研修を実施したことによる履修費の受入れが 58 百万円あったため、法人全体では前期比 65 百万円増加の 2,005 百万円となった。また、寄付金及び経常費補助金も前年に比して増加したため、学納金収入を含めた教育活動収入は前年比 562 百万円増加の 3,129 百万円となった。

当期の教育活動における支出は、収入の増加要因の一つである海外研修の実施費用（旅費交通費等）が増加したことや、令和 6 年 4 月から開設する放射線学科のための建物賃借料等の増加等により、法人全体では前期比 144 百万円増加の 2,260 百万円となった。

上記により、当期の経常収支差額は 901 百万円となった。

当期末における純資産の残高は 11,206 百万円と前期末に比べ 911 百万円の増加となり、財務内容は引き続き健全な状態にある。

②来期以降の見込み

来期は、福岡国際医療福祉大学の診療放射線学科の新設、専門学校福岡医療経営学院の開学により学生数が増加するため、学校法人の規模拡大に伴って財政基盤もさらに安定していく見込みである。